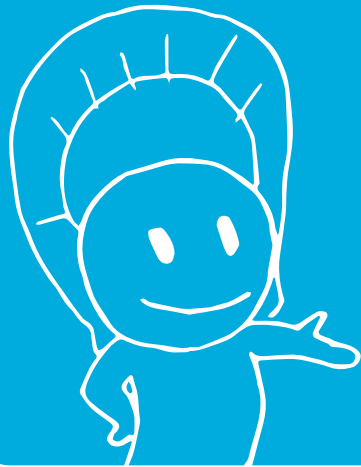


小網代の海へ
ようこそ!

私たちは

NPO法人 小網代パール海育隊です!

ニックネームは小パール隊です。

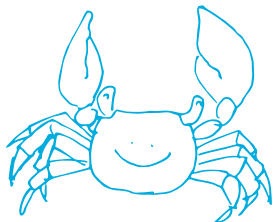


エヌピーオーほうじんこあじろばーうみいくたい

NPO法人小網代パール海育隊って何してるの?

小網代パール海育隊(略称小パール隊)は、この素晴らしい環境を地域の方たちと一緒に学びながら、守って行くことを目標とした活動をしています。この小網代の海で子供たちと一緒に育ち、いずれは海を育ててもらいたい! そのために、真珠の養殖や、稚魚の放流、アマモの再生を通して、みんなが、海を知ったり、楽しんだりするきっかけをつくっていきます。

NPO法人って何?



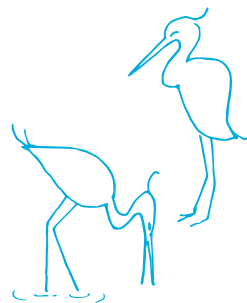
NPOは特定非営利法人(とくていひえいりほうじん)と言って、会社の種類の一つですが、会員が、自分達の生活のためにお金もうけをする会社ではありません。

NPOの会員たちが労働や寄付によって集めたお金は、自然を守る活動や地域の活性化、教育等に使われます。

小網代湾ってどんなところ?

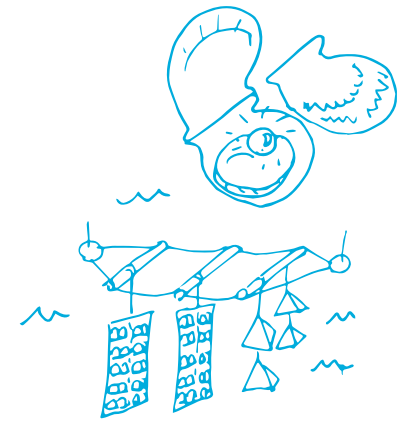
小網代湾は、小網代の森から栄養分を含んだ水が流れ込み、広い干潟の浄化作用(じょうかさよう)で海水がきれいに保たれ、多くの生物が生息しています。

関東でもまれな素晴らしい多様な自然環境の中で、古くから漁師さんの港として栄えて来ました。



真珠養殖(しんじゅようしょく)って何をしてるの?

昔、真珠はアコヤガイという貝の中に偶然できる天然のものしかありませんでした。それを、東京大学の三崎臨海実験所と研究者の協力によって、人の手によって真珠を作り出すことに成功しました。三浦の海でも昔は真珠の生産が行われていました。小パール隊では、アコヤガイを育てる漁業者のお手伝いをしながら、貝が美しい宝石を作り出すという、自然の力の不思議さを、みなさんに体験してもらいたと思っています。



なぜ、マダイの稚魚を放流するの?



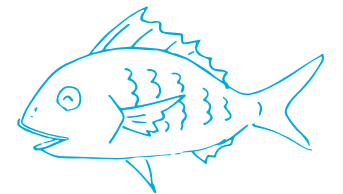
お魚を食べるということは、日本人の昔からの習慣です。

ところが、マダイに限らず、魚のとれる量は年々減って

しまっています。その理由はさまざまですが、魚がとれなくなると、

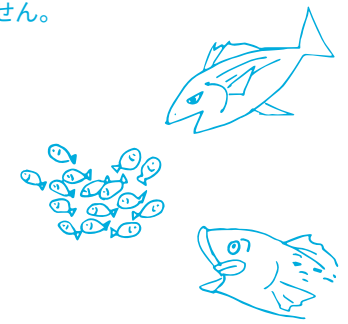
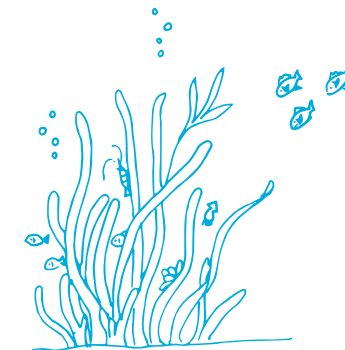
魚をとる漁師さんも困ってしまいます。みんなも魚を食べる回数がへってしまいます。

人の手で少しお手伝いすることで、魚のとれる数を増やしていく必要があります。



アマモはどうして大事なの?

アマモは、陸上の草と同じ仲間です。海藻ではなく海の草とかく「海草」です。他の植物と同じように光合成をして酸素を作り出します。昔、三浦の海にはアマモがたくさん生えていました。そこは、小さな魚の隠れ家になったり、そこで卵を産んで育てたりと、魚や海の生き物にとってなくてはならない場所でした。それが、様々な理由で、今ではほんの少ししか生えていません。アマモの無い海では、小さな生き物たちが生きていくのが難しくなってしまいます。そのために、アマモを増やしていかなければなりません。



自然のめぐみ豊かな小網代湾を、
みんなで一緒に守り育てて行きましょう!